

一般社団法人 The 25th Annual Meeting of Japan Society of Oral Health Science

JS
OHS

ジャパンオーラルヘルス学会 第25回学術大会

プログラム・抄録集

ライフステージに合わせた 口腔健康管理

会期 2023年12月9日(土)

会場 日本歯科大学生命歯学部
本館8階 富士見ホール

大会長 小川 智久 日本歯科大学附属病院 総合診療科

準備委員長 岩田 洋 日本歯科大学附属病院 放射線・病理診断科

日本歯科大学附属病院



一般社団法人

ジャパンオーラルヘルス学会 第25回学術大会

The 25th Annual Meeting of Japan Society of Oral Health Science

プログラム・抄録集

ライフステージに合わせた 口腔健康管理

会期

2023年12月9日(土)

会場

日本歯科大学生命歯学部
本館8階 富士見ホール

大会長

小川 智久
日本歯科大学附属病院 総合診療科

準備
委員長

岩田 洋
日本歯科大学附属病院 放射線・病理診断科

事務局

日本歯科大学附属病院 総合診療科

〒102-8158 東京都千代田区富士見2丁目3-16

TEL: 03-3261-5511 FAX: 03-3261-3924

E-mail: jsoshs25@tky.ndu.ac.jp

INDEX

大会長挨拶	1
会場アクセス図	2
学術大会に参加される皆様へ	3
一般演題発表者の皆様へ	4
日 程 表	5
プログラム	6
抄 録	
特別講演	12
教育講演	13
シンポジウム	14
ランチョンセミナー	17
市民公開講座	18
一般口演	19
謝 辞	27

学術大会開催のご挨拶



ジャパンオーラルヘルス学会第25回学術大会

大会長 小川 智久

日本歯科大学附属病院 総合診療科

このたび、令和5年(2023年)12月9日(土)に第25回ジャパンオーラルヘルス学会学術大会を日本歯科大学生命歯学部 8階富士見ホールで開催いたします。今大会のメインテーマは「ライフステージに合わせた口腔健康管理」といたしました。

口腔健康管理の目的は、生涯を通して口腔の健康を保つことであり、それには各ライフステージに合わせた口腔衛生管理や口腔機能管理についての理解が必要となります。また、定期的歯科検診や歯科受診を行うことにより全身の健康増進にも繋がるため、国民への啓発活動とともに、自身の口腔健康のリテラシーを育む必要性もあります。

特別講演では、日本歯科医学会総務理事の小林隆太郎先生に講演をしていただきます。小林先生は歯科医学会から口腔健康管理の重要性を国民に発信するなどの活動を多方面でされています。

教育講演(認定医教育講演)では神奈川歯科大学歯学部の榎木恵一先生に、「腸-唾液腺相関と全身の健康」について講演をいただきます。

シンポジウムでは、「ライフステージに応じたオーラルヘルス」をテーマに、小児期、成人期、老年期に分け3名の先生方から講演していただきます。日本歯科大学附属病院小児歯科診療科の内川喜盛先生からは「乳幼児期から学童期までのオーラルヘルスケア」、麻生歯科クリニックの麻生幸男先生からは「生涯的な口腔衛生習慣への自覚を促す予防アプローチ」、東京都健康長寿医療センターの平野浩彦先生からは「高齢期の口を支える視点:オーラルフレイル」の内容でそれぞれ約30分間の講演予定となっております。

昨年から本学会が歯学系学会合同脱タバコ社会実現委員会に加盟し、その主旨から脱タバコに関する市民公開講座を予定しております。日本歯科大学附属病院 生命歯学部の伊藤弘先生に講演をいただきます。また、グラクソ・スミスクライン株式会社によるランチョンセミナーも予定しております。

新型コロナウイルスはまだ完全に収束していないため、本学術大会では会場での対面とオンデマンドでのハイブリッドでの開催を予定しております。これまで私は5回ほど本学会学術大会の準備委員長として経験はありますが、ハイブリッド開催は未経験です。また、会場での感染対策等も必要であり、皆様が安心・安全で実のある学術大会であったと記憶されるよう、スタッフ一同鋭意準備に取り組んでおります。全国から多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場アクセス図

会場：日本歯科大学生命歯学部 富士見ホール

〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20



会場へのアクセス

- JR飯田橋駅 …………… 西口より徒歩約5分
- 地下鉄飯田橋駅 ……… JR 駅口 (A4) より徒歩約6分
牛込口 (B2a) より徒歩約6分
- 地下鉄九段下駅 ……… 1番、7番出口より徒歩約8分

学術大会に参加される皆様へ

1. 受付

1) 登録

総合受付は午前8:30より、8階エレベーターホールで行います。

事前登録がお済みの方は、参加証とプログラム・抄録集をご持参ください。

当日参加される方は登録用紙に必要事項を記入後、総合受付へお持ちください。

2) 参加証

会場内では参加証を身につけてください。

3) 認定医申請のための単位登録

- 学術大会参加単位は本大会の参加証がそのまま証明となります。
- 認定単位付与に関しては、抄録集(P.9)の「第25回学術大会 認定教育講演受講証明書」に発表中のキーワードを記載して更新時に提出してください。

2. 参加費

1) 会員参加費

歯科医師・医師	12,000円
歯科衛生士	7,000円

2) 非会員参加費

歯科医師・医師	14,000円
歯科衛生士	9,000円
学生	無料
上記以外	14,000円

3. クローク

クロークは8階 受付横にあります。

4. ランチョンセミナー

参加される方は開始時間になりましたら7階 171講堂にお集まりください。なお、定員に達しましたらお弁当の配布は終了いたします。

配布終了後も聴講は可能です。

5. お願い

- 当日は他の大学行事も行われておりますため、他フロアへの立ち入りを禁止させていただきます。
- 敷地内は禁煙となっております。ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。
- 会場における撮影・録画・録音はご遠慮ください。

一般演題発表者の皆様へ

【発表形式】

発表データの作成方法・提出方法につきましては下記の通りです。

口演発表は、発表が8分、質疑応答が2分となります。

【発表方法・データ受付について】

- 1) 会場の PC をご使用いただきます。
- 2) 発表スライドは Windows 環境において Microsoft 社 PowerPoint で動作するものとします。
- 3) 学会当日に発表ファイルを入れた USB フラッシュメモリーをご持参ください。
- 4) 一般口演1 O-1～O-5の先生方は8時30分までに、一般口演2 O-6～O-8の先生方は12時00分までに日本歯科大学生命歯学部 本館8階エレベーターホールに設置されます PC 受付にお越しいただき、試写・動作確認の上、提出をお願いいたします。発表用のデータは、大会終了後に事務局にて責任を持って消去いたします。
- 5) 発表に際しては利益相反 (COI) の開示をお願いします。
- 6) ご自身の発表の前の発表者が登壇されたら、必ず次演者席にお着きください。

【座長の先生方へ】

時間通りの進行にご協力願います。

また、ご担当いただく最初の演題の10分前までに次座長席にお着きください。

日 程 表

12月9日(土) 日本歯科大学生命歯学部 本館

	A 会場 8F 富士見ホール	B 会場 7F 171講堂	企業展示 8F 展示ホール
8:30	受付開始 8:30～		
9:00	8:55～9:00 開 会 式 9:00～9:50 一般口演 1 O-1～O-5 座長：前田 祐貴		9:00 ↓ 17:00
10:00	10:00～11:00 特別講演 健康寿命延伸のための 「口腔健康管理」の重要性 座長：山根 源之 演者：小林 隆太郎		企 業 展 示
11:00	11:10～11:50 市民公開講座 健康寿命の延伸はお口の健康から 座長：岩田 洋 演者：伊藤 弘		
12:00		12:00～12:50 ランチョンセミナー ブラキシズム・矯正用マウスピース、リテーナーを含む口腔 内装置のケアと、疾患に対する歯磨剤での予防について 演者：宮川 亜理子	
13:00	13:00～13:30 一般口演 2 O-6～O-8 座長：礪波 健一	協賛：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ ヘルスケア・ジャパン株式会社 (GSKCHJ)	
14:00	13:40～14:40 教育講演 腸-唾液腺相関と全身の健康 座長：小川 智久 演者：槻木 恵一		
15:00	14:50～16:40 シンポジウム ライフステージに応じたオーラルヘルス 座長：佐藤 勉 演者：内川 喜盛 麻生 幸男 平野 浩彦		
16:00			
17:00	16:45～ 閉 会 式	17:00～18:30 認定医・認定歯科衛生士試験	

プログラム

2023年12月8日(金)

16:00～17:30 **理事会**

(日本歯科大学附属病院8階 第5会議室)

18:00～ **理事懇親会**

2023年12月9日(土)

日本歯科大学生命歯学部 本館

8:55～9:00 **開会式**

A会場(8F 富士見ホール)

9:00～9:50 **一般口演1**

A会場(8F 富士見ホール)

座長：前田 祐貴(日本歯科大学 生命歯学部 解剖学第1講座)

O-1 浦安口腔がん早期発見システム(OCTOPUS)の成果について

○西原 孝博¹⁾、齋藤 寛一¹⁾、菊地 崇剛¹⁾、鈴木 大貴¹⁾²⁾、橋本 和彦³⁾、田中 陽一³⁾、野村 武史¹⁾²⁾、久後 佑介⁴⁾、板野 賢⁴⁾、平 健人⁴⁾、飯田 哲也⁴⁾

1)東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座、2)東京歯科大学 口腔がんセンター、
3)東京歯科大学 市川総合病院 臨床検査科病理、4)浦安歯科医師会

O-2 2型糖尿病患者に歯科定期管理と医療連携を行なった一症例

○柿本 薫¹⁾、麻生 幸男¹⁾、小川 智久²⁾

1)医療法人社団ワンアンドオンリー 麻生歯科クリニック、2)日本歯科大学附属病院 総合診療科

O-3 東京医科歯科大学病院歯科ドックの運用状況

○礪波 健一¹⁾、梅森 幸¹⁾、則武 加奈子²⁾、金森 ゆうな²⁾、葛西 美樹³⁾、小西 富代³⁾、佐川 かおり³⁾、下山 和弘⁴⁾、新田 浩¹⁾

1)東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 総合診療歯科学分野、2)東京医科歯科大学病院 歯科総合診療科、
3)東京医科歯科大学病院 歯科衛生保健部、4)東京医科歯科大学 名誉教授

O-4 新規作製したセラミック含有歯ブラシの概要および使用感調査

○鷹取 諄¹⁾、石井 綾子²⁾、谷口 奈央³⁾、山本 繁¹⁾、畠山 純子¹⁾、米田 雅裕¹⁾

1)福岡歯科大学 総合歯科学講座 総合歯科学分野、2)福岡医療短期大学 歯科衛生士学科、
3)福岡歯科大学 口腔保健学講座 口腔健康科学分野

O-5 開業医における睡眠時ブラキシズムへの睡眠時筋電図検査の有用性の検討

○藤巻 弘太郎¹⁾²⁾

1)ぶばいオハナ歯科、2)(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

10:00～11:00

特別講演

A 会場(8F 富士見ホール)

山根 源之(ジャパンオーラルヘルス学会 理事長)

健康寿命延伸のための「口腔健康管理」の重要性

小林 隆太郎 日本歯科大学東京短期大学 学長・日本歯科医学会 副会長

11:10～11:50

市民公開講座

A 会場(8F 富士見ホール)

座長：岩田 洋(日本歯科大学附属病院 放射線・病理診断科)

健康寿命の延伸はお口の健康から

伊藤 弘 日本歯科大学附属病院 生命歯学部 歯周病学講座 准教授

12:00～12:50

ランチョンセミナー

B 会場(7F 171 講堂)

**ブラキシズム・矯正用マウスピース、リテーナーを含む
口腔内装置のケアと、疾患に対する歯磨剤での予防について**

宮川 亜理子 GSKCHJ エキスパートセールス

協賛：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社(GSKCHJ)

13:00～13:30

一般口演2

A 会場(8F 富士見ホール)

座長：礪波 健一(東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 総合診療歯科学分野)

O-6 インプラント術前の歯科用 CT 検査でみられた偶発所見について

○齋藤 圭輔、林 宗廣、岩田 洋
日本歯科大学附属病院 放射線・病理診断科

O-7 睡眠時ブラキシズムの睡眠時筋電図検査における左右選択の検討

○藤巻 弘太郎¹⁾²⁾
1)ぶばいオハナ歯科、2)(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

O-8 動機づけ評価尺度に基づく質問票を用いた歯周基本治療による意識変化の評価

○佐久間 愛¹⁾²⁾、麻生 幸男¹⁾
1)医療法人社団ワンアンドオンリー 麻生歯科クリニック、2)徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔保健衛生学分野

13:40～14:40 **教育講演**

A会場(8F 富士見ホール)

小川 智久(日本歯科大学附属病院 総合診療科)

腸-唾液腺相関と全身の健康

槻木 恵一 神奈川歯科大学 病理・組織形態学講座 環境病理学分野 教授

14:50～16:40 **シンポジウム**

A会場(8F 富士見ホール)

座長: 佐藤 勉(東海大学 医学部 基礎医学系/(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター)

[ライフステージに応じたオーラルヘルス]

乳幼児期から学童期までのオーラルヘルスケア

内川 喜盛 日本歯科大学附属病院 小児歯科 教授

生涯的な口腔衛生習慣への自覚を促す予防アプローチ

麻生 幸男 医療法人社団ワンアンドオンリー 麻生歯科クリニック 院長

高齢期の口を支える視点: オーラルフレイル

平野 浩彦 東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科部長・
東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム研究部長

16:45～

閉会式

A会場(8F 富士見ホール)

17:00～18:30

認定医・認定歯科衛生士試験

B会場(7F 171講堂)

一般社団法人ジャパンオーラルヘルス学会 第25回学術大会 認定教育講演受講証明書

●氏名： _____

●認定教育講演のキーワード(当日に提示された数字をお書き下さい)

※本様式は、認定医教育講演の単位(2単位)の証明書としてのみご利用いただけます。
学術大会の参加単位(4単位)証明書としてご利用いただくことはできません(いかなる場合でも、学術大会参加単位証明書としてはお受けできません)。
学術大会の参加単位証明については、必ず「参加証」をご提示いただきますようお願い致します。

※本様式は、認定資格ご申請時(更新申請時)には切り離していただき、「原本」をご提出下さい。原本以外は単位として承認できません(コピーは不可です)。

※本様式は、認定資格ご申請時(新規申請あるいは更新)まで、ご自身で保管して下さい。
(紛失された場合の再発行や、キーワード再提示等は一切できません。大切に保管して下さい)

特別講演

教育講演

シンポジウム

ランチオンセミナー

市民公開講座

一般口演



健康寿命延伸のための「口腔健康管理」の重要性

小林 隆太郎

日本歯科大学東京短期大学 学長
日本歯科医学会 副会長

略 歴

昭和59年3月
日本歯科大学 歯学部 卒業
平成元年3月
日本歯科大学大学院 歯学研究科
博士課程修了
平成3年4月
日本歯科大学 歯学部 口腔外科学教
室第2講座 講師
平成13年1月
日本歯科大学歯学部附属病院
顎変形症診療センター長
平成15年4月
日本歯科大学歯学部附属病院
口腔外科 助教授
平成21年4月
日本歯科大学附属病院 医療管理室
室長併任
平成22年4月
日本歯科大学 口腔外科 教授
平成30年8月
学校法人日本歯科大学 理事
令和3年4月
日本歯科大学東京短期大学 学長

社会活動関連

平成25年8月
日本歯科医師会 保険適用検討委員会
委員長
平成26年4月
日本歯科医学会 歯科医療協議会 座長
平成27年7月
日本歯科医学会 常任理事
平成30年6月
日本生活習慣病予防協会 参事
令和元年7月
日本歯科医学会 総務理事
日本歯科医学会連合 専務理事
令和2年3月
日本歯科医学会連合 新型コロナウイ
ルス感染症対策チーム長
令和2年6月
厚生労働省「特別研究：新型コロナ
ウイルス感染症に対する院内および
施設内感染対策の確立に向けた研究」
歯科代表
令和5年7月
日本歯科医学会 副会長

表彰関連

平成24年10月 厚生労働大臣表彰

誰もが健康で長生きしたいと考えます。そこで重要となるのが、健康寿命延伸のための条件です。「がん、心臓疾患などの1次、2次予防をより一層進めていくこと」、「筋骨格系疾患への対応」、「メンタルヘルスへの配慮」、そして、「口腔健康管理の重要性」が挙げられています。社会に口腔健康管理の定義を定着化させ、生活における日常化を進めるとともにオーラルフレイル対策を活性化させていくことが健康寿命延伸の鍵になると考えています。

口腔健康管理の用語誕生の背景と経緯ですが、いわゆる「口腔ケア」という用語は、歯科職種のみならず、生活しているさまざまな場面で使われてきました。歯科以外の分野では、口腔清拭、食事の準備や歯磨きなどが含まれています。また、歯科職種が行う専門的口腔健康管理も、国民への周知の一環で「口腔ケア」と表現され、実施している医療内容と呼称とに齟齬があることが課題であったため、平成26年11月に日本歯科医師会から日本歯科医学会へ口腔ケアの定義の関する委員会設置の要望がだされました。平成27年1月に「口腔ケア」検討委員会が発足し作業が進められ、日本歯科医学会43学会にパブリックコメントを求め、最終的に平成27年6月に答申書が提出されました。ここから「口腔健康管理」の用語が社会に出ていきました。この事は、曖昧であった広義の意味での「口腔ケア」と歯科医療との関係が整理、理解され、歯科医療職と多職種との良好な連携構築、さらなる国民の口腔・全身の健康保持に貢献していく重要性を含むものと考えています。

「口腔健康管理」は、口腔機能に関わる専門的な対応を「口腔機能管理」、口腔衛生に関わる専門的な対応を「口腔衛生管理」、誰もが日常生活で行う行為を「口腔ケア」としました。

重要なことは、国民に支持、理解してもらえる歯科医療を提言、具現化、社会実装の促進です。医療は国民のためのもの、歯科が社会貢献として、国民の健康に寄与していくことが大切だと考えます。

浦安口腔がん早期発見システム (OCTOPUS) の 成果について

○西原 孝博¹⁾、齋藤 寛一¹⁾、菊地 崇剛¹⁾、鈴木 大貴¹⁾²⁾、橋本 和彦³⁾、
田中 陽一³⁾、野村 武史¹⁾²⁾、久後 佑介⁴⁾、板野 賢⁴⁾、平 健人⁴⁾、飯田 哲也⁴⁾

1) 東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座

2) 東京歯科大学 口腔がんセンター

3) 東京歯科大学 市川総合病院 臨床検査科病理

4) 浦安歯科医師会

【緒言】日本における5大がん(大腸がん、肺がん、胃がん、子宮がん、乳がん)が検診事業の成果で横ばいから減少傾向にある中で、口腔がんは年々増加傾向にある。また、口腔がんの従来の集団検診の発見率は0.2%程度であり、十分な成果をあげていない。浦安市口腔がん早期発見システム(Oral Cancer Thorough Observation Project Urayasu System : OCTOPUS)は、日常の歯科診療において歯科医師が口腔粘膜疾患にも目を向け、口腔がんを早期のうちに発見することを目的としている。

私たちは口腔がん早期発見を目的とし、OCTOPUSを発足したので、その概要を報告する。

【対象・方法】2019年4月より2022年3月までの3年間、OCTOPUS検診医32名の歯科診療所で検診を希望された患者を対象とした。検診を行った患者について、年齢、性別、検診結果について調査した。

【結果】OCTOPUSで検診を行った患者は3,234例であった。年齢は50歳代が最も多く、次いで60歳代であった。1次スクリーニングで、何らかの口腔粘膜の異常を認めたものが244例(10.2%)であった。2次スクリーニングで、細胞診を行ったものは60例であった。口腔がんは5例であった。

【考察】OCTOPUSは、1次スクリーニングとして口腔内写真を撮影し、口腔粘膜に異常が認められた症例については、必要に応じて2次スクリーニングとして細胞診を行っている。口腔がんの発見は5例であり、従来の集団検診と同程度の発見率であった。本症例の中には白板症や扁平苔癬などの口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)が多く認められ、2次医療機関での適切な治療を受けることができた。口腔がんとなる前の段階で発見、治療されることは検診の本来の目的である口腔がんの減少ということからも意義は大きいものと考えられる。

一般社団法人 ジャパンオーラルヘルス学会第25回学術大会
プログラム・抄録集

大会長：小川 智久

事務局：日本歯科大学附属病院 総合診療科
〒102-8158 東京都千代田区富士見2-3-16
TEL：03-3261-5511 FAX：03-3261-3924
E-mail：jsohs25@tky.ndu.ac.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>